

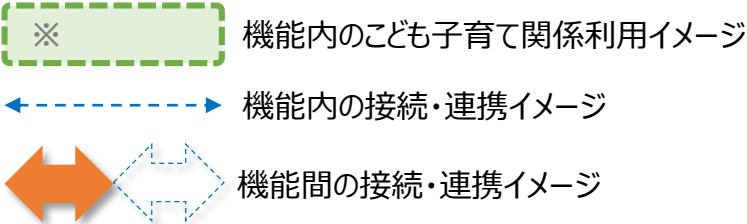
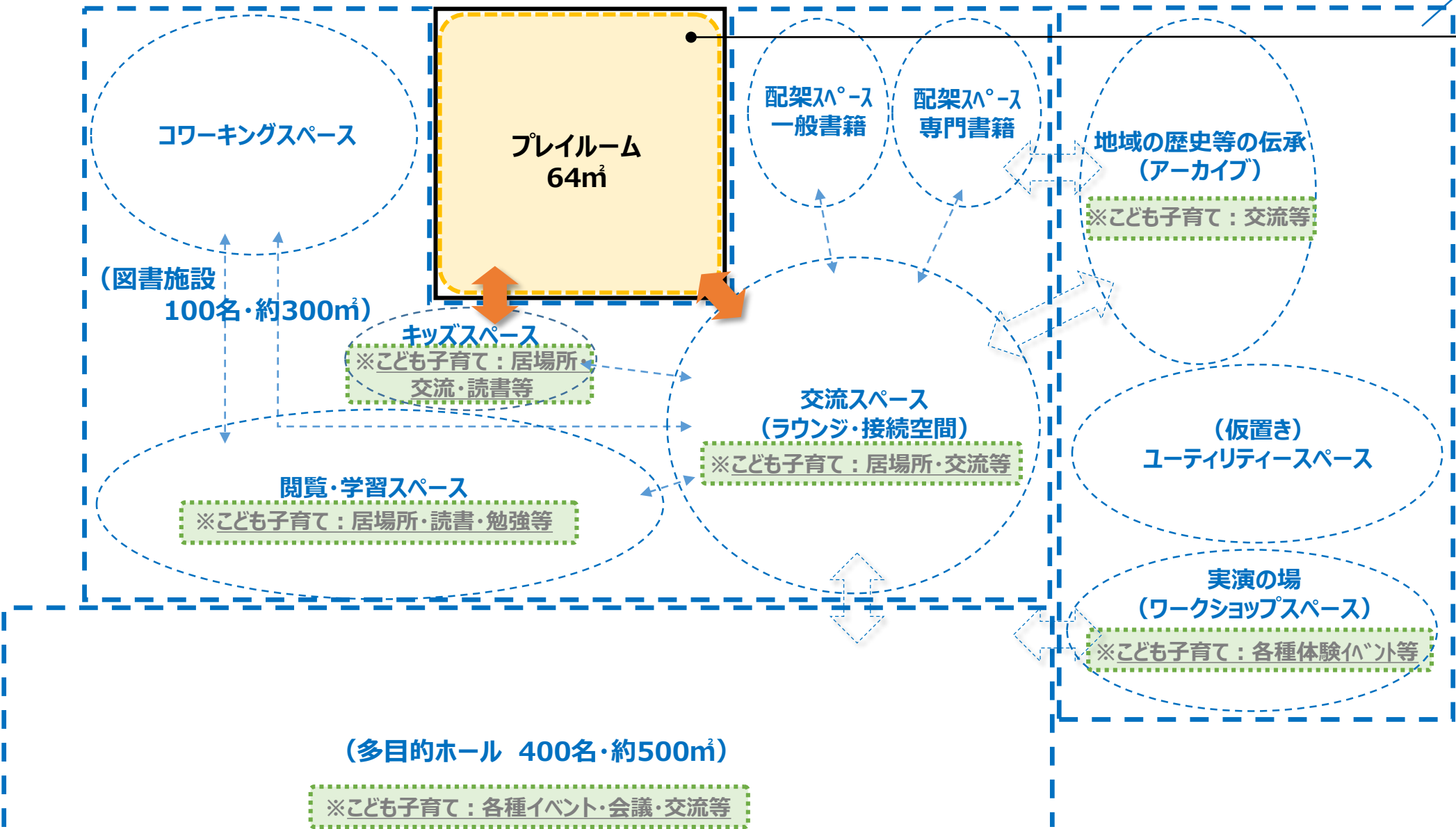
■こどもの居場所、子育て支援機能のイメージ

注意：規模感をイメージするための図面です。
会議資料用のイメージ図です。

こどもの居場所、子育て支援機能イメージ（規模 約64㎡を想定 8m×8m）

別途、（仮置き）保育所については、実現可能性及び規模等について市場調査等を実施

（実演の場・地域の歴史等の伝承（アーカイブ）
（仮）ユーティリティスペース 約180㎡）



（仮置き）保育所（民設民営）

★実現可能性及び規模等について
市場調査等を実施

プレイルーム（イメージ）

- 小学校の教室程度（64㎡）ほどの面積
- 未就学児～小学生程度の子供が走り回れる、体を使って遊べる（ボルダリング、器械体操、ボールプール）絵本を読んだり、おもちゃで遊んだり、自由に親子と一緒に過ごせる。
- 防音性を備えており、こどもの声や楽器のおもちゃの音も漏れにくい。
- 交流スペース、キッズスペースとの連携によりさらなる機能強化を図る
- 保護者同士の子育てに関する相談など、情報交換の場として利用される
- 小学生や中学生の放課後の居場所として気軽に訪れることができ、隣接する交流スペースや閲覧学習スペースで宿題をこなす
- 地域住民と多世代交流する場としても利用



写真：京都市交流促進 まちづくりプラザ



写真：福島県本宮市 スマイルキッズパーク

■こどもの居場所、子育て支援機能に関する施設等



でのご意見のとりまとめ（案）

■全体イメージ

各機能面積合計（共用部除く）	
約1,044㎡を想定	
①多目的ホール	約 500㎡
②図書施設	約 300㎡
③実演の場・地域の歴史等の伝承 等※ 1	約 180㎡
④こどもの居場所 子育て支援機能※ 2	約 64㎡
合計	約1,044㎡
※ 1 （仮置き）ユーティリティースペースについては、 エリアマネジメント協議会で議論いただいているワンストップ相談窓口（相談・事務スペース）を想定。	
※ 2 別途、（仮置き）保育所については、実現可能性及び規模等について市場調査等を実施。	

「多目的ホールワークショップ」「図書施設ワークショップ」「実演の場などのワークショップ」「こども・子育てに関するワークショップ」などのご意見を踏まえ、相互に関連・連携する部分の調整を行います。あわせて、あいりん総合センター跡地北側全体の活用検討や調整も行なってまいります。

**注意：規模感をイメージするための図面です。
会議資料用のイメージ図です。**

④こどもの居場所、子育て支援機能 約64㎡

③実演の場・地域の歴史等の伝承（アーカイブ）
（仮）ユーティリティースペース 約180㎡

